

「国内大会での迷彩柄使用禁止についての説明」

平素より JPA に対するご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

現在、JPA は、昨年の北海道開催のアジアベンチプレス選手権大会を皮切りに、2025年に兵庫県にアジアパシフィックアフリカ大会、2027年には、世界エクイップパワーリフティング選手権大会を開催予定です。

更に、今後も、頻繁に国際大会を招致して行きたいと考えております。

その中で、日本国内の服装を含めた環境整備をしっかりと整えて行く必要があります。また、将来を見据えては、各国のオピニオンリーダーとして役割を担って行く事も非常に大切であると考えております。

最近では、皆様のご協力のお陰で、国内大会でも服装等が、非常に良くなり心より感謝致しております。

今回は、来年（2025年）年明けより、国内大会に限り、迷彩柄の服装及び個人用具にて使用禁止とさせて頂く事についての内容になります。

既に『技術委員会通達 24-6』『令和6年度第5回理事会議事録』にて情報公開させて頂いておりますが、今回は、国内のパワーリフティング関係者の皆様に、しっかりご理解頂きたく、声明（説明）文を発行させて頂きます。

迷彩柄については、世界を視野に入れた場合に、一般市民の着用を禁じている国や、スポーツでは、ゴルフが迷彩柄を禁止している状況にあります。

更には、2019年開催の成田国際大会において迷彩柄の服装を着用した補助員が、IPF会長から指摘を受けた事もあり、理事会にて満場一致で使用禁止になりました。

現在、迷彩柄の服装及び個人用具を使用されている皆様には、大変に不便をおかけ致しますが、ご理解頂きたく宜しくお願い致します。

尚、選手、セコンド、コーチ、補助員、放送係等の役員スタッフ以外の服装は、制限致しませんので、合わせて宜しくお願い致します。

2024年11月25日

日本パワーリフティング協会 会長 古城資久

日本パワーリフティング協会 技術委員長 二宮正晴